

談話会のお知らせ

講師

千葉大学大学院融合理工学府・
教授・ 渚 勝 先生

タイトル

「正定値性と作用素ノルム不等式」

幾何平均、算術平均、調和平均に関する作用素ノルム不等式が知られている。

日合、幸崎による証明は、上記のような平均をパラメータを持つ関数族で実現し、パラメータについて正定値関数を用いた順序を示すことで、定式化された。ここでは、日合、幸崎で用いられた関数族をさらに拡張して、その順序、つまり新たな作用素ノルム不等式を得る方法について解説する。

日時

平成29年5月25日(木)

16：30～17：30

場所

理A408室

問合先/世話人
数理科学科/須藤隆洋